

か略

一月十六日のオーピングに始まり、十八日、十九日のワーク
ショップに至るまで、これらの一つ一つのことか家族的な雰囲気
の中が聞かれたこと、言葉の分からない私達でしたが、
皆さんの笑顔に触れながら、十分に楽しんでいるときを共に
できあぐたこと、何より有難いことでした。

オーピングにいらした方か、これまでにない七十有余名の
数を数えたこと、その中にはこどもやあまりいらしたことの多い大学
の教授の方の姿もあつたこと、これらのことはアンケート採り、
これを積み重ねてきた成果がこの数字に表われていると
思います。また、さまざまなお機関との信頼関係を築かれてき、
たへアンケート採 **（毒島外記念館の発展のため）** の人徳によるところも大きい
と思います。

日本文化普及センター グローブラオ

この日の午会中は、独自の協会のナイオチチ、真澄様と

お会いし、ベルリンでの展示会が終わったから、こちらに作品を

送ってほしいとのことでしたので、快諾いたしました。

後日、こちらからパーテ様の方へご連絡の電話を入るよ

ことでした、こちらからは預けて行った案内ハカキを渡して、畑へ

の情報も（コピーしたもの）お伝えしていただきました。

（日本には多く

の道義前というところも言っております。作品の引き渡す方は

真澄様のところへお願いいたします。

いろいろとお世話になりました。よろしくお預け申し上げます。

先ほど大ベルリン、フランクフルトのりえでしたパーテ様におかれ

道義に付け、くれぐれもお体に気を付けてご無理を

なさいないように祈っております。感謝をこめて

二〇二〇年一月二十四日

吉見 羽平

※大きな大きな思い出しに残る旅とすうすうと云うかといふ思い

吉見 有一、鍾山、中尾 辰子

五月、十八日、十九日のワークショップも家庭的な雰囲気の中で
和気^{あひ}た^{あひ}調^{あひ}に進められたことも有難いことでした。十八日は、
書道塾^か何れも知らない、ほいめでの体験をする人と聞いて、
たか、皆さん、墨の磨り方から筆の持ち方、運び方を学び、真剣
に取り込まれた結果、うちわの上に仕上げた作品は、ほいめを
筆を持つたとは思われない作品になっていました。受講^{じゆ}一人一人の
満足な表情をたのむことができて、ません。

二日目のワークショップでは、さすがに経験者だけあって、大胆
な筆さばりで一人一人が個性的な作品を仕上げることができ、
そして、自信をもって展覧会等に出展することを決めた
喜び、そして、日本文化の発信者になってほしいと思っ
受講された方から好評のメールが届いていることか分り嬉し
かったこと

かつたもの。特に初心者よりこれからは書道をやりたいという
声も聞いた時はワレウレウッッをやって本当によかったと思っ
てました

展示については、スペースの周りで二十作品は飾れないかも
しれないと聞いてありました。何本の作品は日本へ持ち
帰らなければならぬと覚悟して来ました。加、二宮の空内
を上午に使ってソリたとき、表紙の色、紙の色や大きさ等
素直にレイアウトしてソリたとき、一つ一つの作品の装
飾も輝いて見えなくなりました。ありがとうございました

思い返しても搬入時に肝心の「百折不回」を合正四本
の作品が揃っていないことか分かった時は、いっしょに
オノノニンはどうなるのだろうと、大変申しわけない気持ち

にたりありたか、さまざまな体験をされ、それを何となく
垂り越えていらつしやうた。パーテー様の機転のきいた配慮
に大変羨もちぬ。樂になり救われた気持ちになりやうた。
オーポニングもワークショプも、パーテー様の思い描いていらつし
やうた構想が予想以上のものゝあつたと喜んでくださう。私としても
嬉^{かたし} _{ました} 一結に集てくれた家族が大変喜んでくれた。
昨日(二月二十日)、家族四人でベルリン市内を観光する中で、
フランケンアルケ内のすくそばのホテルで、この成果に乾杯を
しやう。

さらに、フランクフルトでの書展の話がきたのも、この「森鷗外
記念館での書展のあつたればこそ」と思つていまや

鈴鹿里の巡回展をやるように、この書展も以後百年間に

森鷗外

向けて、巡回展のなごん、ドイツと日本のかけ橋的役割目

想うことかろき、小は嬉しく存じまひ

のだ やめ

オフハンバッハでのプレゼンテーションは、野田裕美子様か

アロジククターを使って日本の国字もある、漢字やかなについて説明

すよ、その説明をうけて、^{（お正月）}篆書の文字や隸、楷、行、草の

文字を上演していき、うた ^{（お正月）}なごんことぶき、弄しという字を書き

かなの説明のあとには漢字とかな交りの調和味の作っ

聖書のことばの中から書きまひ ^{（喜ぶ人と共によろこぶ）}悲しむひと

最後は「書き初め」として 松竹梅しのことばと草書で

松竹梅しと書きまひ

このプレゼンテーションの締めと終わりは野田裕美子さんか

この日のために、私から書の話を知りたことをもとに編曲した曲か

演奏をまひ

開会時、春の海
閉会時、ふるさと